

# わが校区のじまん「松山大成塾」～小中連携～

大崎市立松山小学校  
大崎市立下伊場野小学校  
大崎市立松山中学校

## ●松山大成塾とは

松山領主・茂庭氏が創設した学問所「大成館」にあやかって名付けた「松山大成塾」は、松山中学校区内の小中連携を目的としたプロジェクトです。

### 1 目指す児童生徒の姿

- ① 主体的に学び、知力を高める児童生徒
- ② 互いに思いやり、協働し合う児童生徒
- ③ 夢やあこがれを志に高め、自己実現に努める児童生徒

### 2 活動内容

中学校区内の以下の課題解決に向けて3つのセクションを設定し、主に次の活動を行っています。

- 学力向上に向けた取組
- 特別支援対象児童生徒への対応
- いじめ・不登校の未然防止（情報交換）
- スマホ使用時間自製の意識付け
- 地域や3校で共に進める特色ある学校づくり
- 防災共同体としての防災教育の推進、体制整備

### 3 活動の例

#### (1) 小6 オープンスクール

令和5年8月25日（金）、2校の小学6年生が中学校の授業（国語・理科）体験等を行いました。予定されていた部活動体験は暑さのため代表生徒による説明のみとなりました。6年生にとっては中学校生活への意識付け、中学生にとっては後輩を迎える意識付けの有意義な機会となりました。

#### (2) 小中ふれあいコンサート

令和5年11月7日（火）、松山小学校体育館を会場に3校が一堂に会し、コンサートを行いました。松山小4年生は合唱とリコーダー演奏を、下伊場野小全校児童は和太鼓演奏を、最後に松山中3年生が合唱を披露しました。中学生は小学生の一生懸命な演奏に目を細め、小学生は中学生の迫力のある合唱に感動していました。自然と拍手を贈りたくなるような気持ちが温くなるコンサートでした。

### 4 今年度の成果・課題、次年度に向けて

#### (1) 今年度の成果・課題

「松山大成塾」総会を4年ぶりに実施することができました。児童生徒の交流だけでなく、全教職員が授業参観や情報を共有できる場があることは、連携を強める意味では大変重要であることを確認できました。課題となるのは、暑さによる行事の期日の設定です。小6 オープンスクールでは部活動体験が中止となるなどの影響がありました。

#### (2) 次年度に向けて

小中学校の児童生徒や教職員同士の「人」のつながりをより多くしたいです。また、パートナーシップ教育をより充実していけるよう、活動内容を十分に検討していきたいです。

